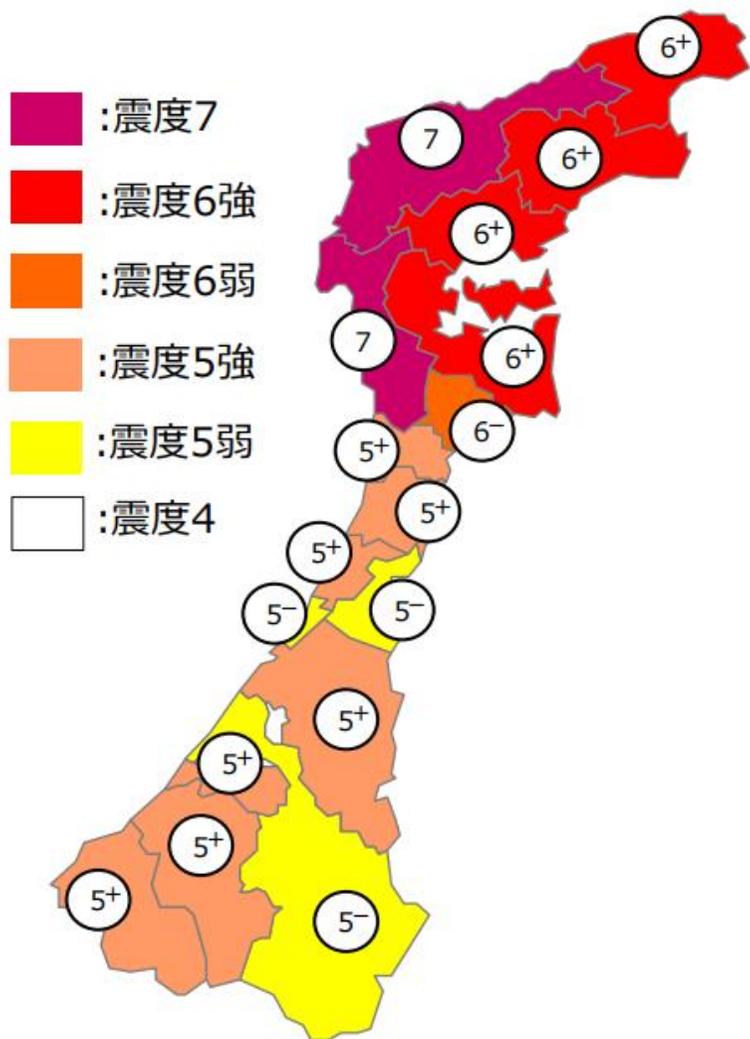


～復旧・復興の取組を生かして～

石川県の被災状況



被害の区分		被害
人的被害	死者数	299名
	行方不明者数	3名
家屋被害（全壊・半壊）		26,816棟

(R6.7.30時点)

令和6年能登半島地震への支援状況

～復旧・復興の取組を生かして～

■ 本県の対応

1 応援本部の設置

1月5日4時、岩手県災害時受援応援計画に基づく「岩手県応援本部（本部長：復興防災部長）」を設置し、地震により甚大な被害を受けた被災県等を支援する体制を構築

2 現地連絡員（リエゾン）の派遣

1月18日から5月31日まで、能登町に復興防災部の職員を派遣

3 能登町への対口支援

- 1月14日、総務省から北海道東北地方知事会を通じて、本県が石川県能登町の対口支援団体に決定した旨の連絡を受けて支援を実施
- 能登町には、本県のほか、滋賀県（総括）、和歌山県、茨城県、宮城県が対口支援団体となり、5月31日まで住家被害認定調査及び公費解体受付に係る支援要員を市町村とともに派遣



令和6年能登半島地震への支援状況

～復旧・復興の取組を生かして～

■ 本県（県・市町村・企業・団体）からの支援

人的支援 (R6.6.30時点)

[短期派遣]

県内市町村等とも連携しながら、延べ669名を派遣

保健・医療・福祉関係者	241名
自治体支援	257名
警察	167名
教育	4名
合計	669名

[中長期派遣]

県職員を計14名派遣

派遣先	職種・人数
石川県	事務 2名
	農学 1名
	農業土木 1名
	機械 1名
	土木 5名
	合計 10名
能登町	土木 3名
能美市	土木 1名



能登半島地震派遣職員報告会の様子
(R6.9.13)

物的支援

食料・生活用品などの支援物資を、
県・市町村・民間企業・団体から被災地に迅速に提供

[支援物資（一例）]

段ボールベッド	200個	簡易トイレ	2,500回分
トイレカー	1台	飲料水	約4,000本
アルファ化米	3,500食	テント型シャワー室	
無洗米	100kg	使い捨て食器	1,000回分
感染防止ガウン等	1,000組	紙おむつ	約3,000枚
ブルーシート	600枚	ゴム手袋	79,800双
缶詰食品	9,600食	トイレ便袋	約3,300枚
土のう袋	2,000枚	PPロープ	100巻
給水車	1台	置時計	700個
プラスチック段ボールパーテーション	約200個		
キッチンカー派遣			
バキュームカー	2台派遣		
車両2台無償貸与（1年間）	等		

令和6年能登半島地震への支援状況

～復旧・復興の取組を生かして～

■ ノウハウ等の提供

『東日本大震災津波からの復興 岩手からの提言』を提供

石川県の取組

避難所運営

高齢者、障害者、女性、子ども、外国人及び性的マイノリティ等の多様な避難者のニーズを踏まえた避難所運営

こころのケア

「石川こころのケアセンター」を設置し、被災者一人ひとりに寄り添った心のケアを実施

子どもの居場所づくり

市町・NPO等と連携した子どもの居場所づくりを推進（遊びの提供や学習のためのスペース設置等）

連携復興センター

関係者間の調整や支援の橋渡し、人材や資金の確保などを適切に行う官民連携の「連携復興センター」を能登に設置

このほか、「復興計画策定」「災害廃棄物処理」「災害弔慰金等支給審査会」「水道施設の復旧」「住家被害認定調査要領」等に係る資料を随時提供

東日本大震災津波からの復興

岩手からの提言

3.11